

## 横浜植物防疫協会からのお知らせ

各 位

横浜植物防疫協会

045-201-2378

お知らせ第13号を送信します。

### 【横浜・川崎港における植物の輸入状況(平成30年1～12月、横浜植物協会扱い)】

横浜・川崎港における植物検査対象植物の輸入状況(平成30年1月～12月、横浜植物防疫協会扱い)の概要を、以下のとおり取り纏めたので参考までお知らせします。

1. **輸入数量**：横浜・川崎港における植物検査対象植物（コンテナ詰・在来船積）の輸入数量は、栽植用植物、球根類及び切花類の総数が 91,569 千個(前年比 121.4%)、栽植用種子、生果実類、野菜類、穀類、豆類、油料類、嗜好香辛料類及び乾牧草・飼料類等の総数が 3,660 千トン（前年比 99.3%）、木材は 190 m<sup>3</sup>(前年比 82.3%) であった。
2. **輸入コンテナ本数**：65,794 van（前年比 99.5%）で、昨年より 306van の減少であった。内訳は 20F が 28,178van（前年比 95.3%）、40F が 37,616van（前年比 102.9%）で、20F コンテナでは 1,380van 減少したが、40F コンテナでは 1,074van 増加した。
3. **栽植用植物**：23van、103 千個（前年比 21.9%）で、草花・樹木類とも、輸入コンテナ本数的にはやや増加したが、輸入栽植用植物の数量は、草花・樹木類とも大幅に減少した。
4. **栽植用球根類**：196van、34,566 千個（前年比 86.3%）で、チューリップ及びユリの輸入が減少した。
5. **栽植用種子**：328van、4,521 トン（前年比 114.4%）で、野菜・牧草類種子の輸入が増加した。
6. **切花・切葉・切枝**：241van、56,900 千個（前年比 163.0%）で、コロンビア産カーネーション、メキシコ産ルスクス、ルモーラ、ユーカリ属植物の輸入が増加したが、コロンビア産キクの輸入が減少した。
7. **果 実**：9,202van、429 千トン（前年比 103.3%）で、オレンジ、レモン、アボカド、キウイフルーツ、ブドウの輸入が増加したが、グレープフルーツ、スウィーティー、パインアップルの輸入が減少した。
8. **野 菜**：4,679van、90 千トン（前年比 112.3%）で、キャベツ、ハクサイ、メロン、ブロッコリー、ニンジン等の輸入が増加したが、カボチャ、ニンニクの輸入が減少した。
9. **穀 類**：9,161van、1,174 千トン（前年比 105.1%）で、コメ、オオムギ、トウモロコシの輸入が増加したが、モルト、ソバの輸入が減少した。
10. **豆 類**：12,700van、756 千トン（前年比 97.2%）で、アズキ、ヤエナリの輸入が増加したが、ダイズ、エンドウ、ラッカセイの輸入が減少した。

11. 香辛料・乾果・葉染料等：13,581 van、261 千トン（前年比 102.0%）で、カカオ、アーモンド、クルミの輸入が増加したが、クリ、ポップコーンの輸入が減少した。
12. 油料・肥飼料等：15,674 van、947 千トン（前年比 91.5%）で、ビートパルプペレット、ヤシ殻・木質ペレットの輸入が増加したが、ナタネ、ゴマ、乾牧草、飼料用ワタミの輸入が減少した。
13. 輸入木材：9van、190 m<sup>3</sup>（前年比 82.3%）で、前年より減少した。

以上